

# 2017年12月期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
II 2017年12月期 実績	P.2
① 損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 貸借対照表	P.5
④ キャッシュ・フロー計算書	P.6
⑤ 設備投資の状況	P.6
⑥ 非資金項目	P.7
⑦ 研究開発の状況	P.7
III 2018年12月期 業績予想	P.8
① 損益計算書	P.8
② 製商品別売上高	P.10
③ 設備投資の状況	P.11
④ 非資金項目	P.11
⑤ 配当	P.11
【将来に関する記述等についてのご注意】	P.11

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てて表示しております。

2018年2月6日

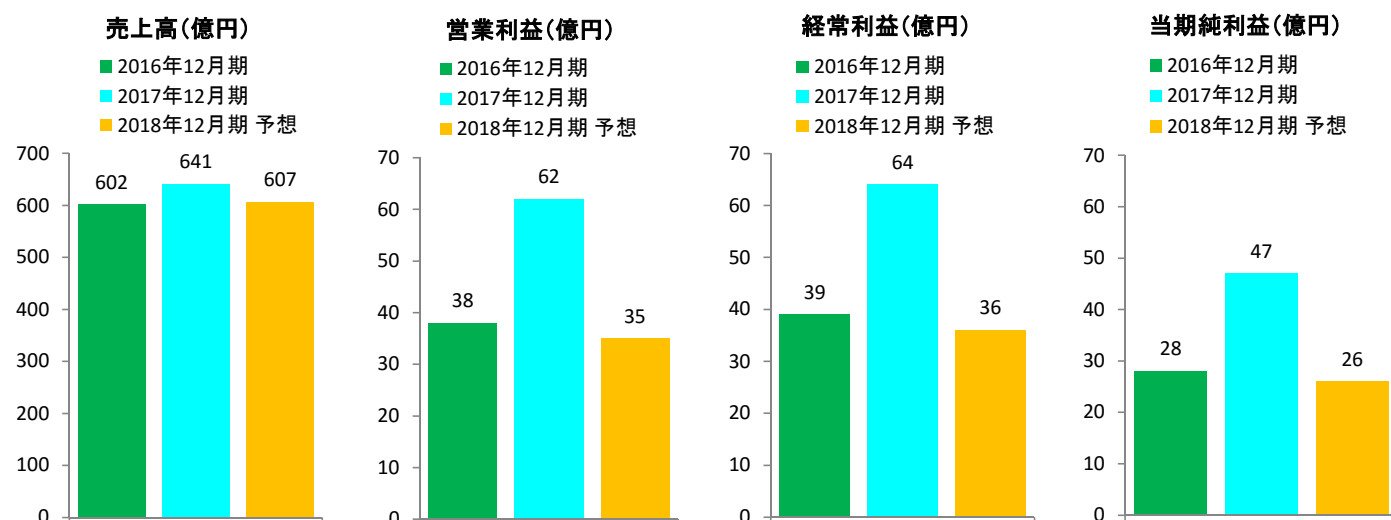


鳥居薬品株式会社

# I サマリー情報

## ① 経営成績

(単位:百万円)	2016年12月期		2017年12月期		増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2018年12月期 予想		増減 C-B	増減率 (%) (C-B)/B
	A	B	C	C-B						
売上高	60,206	64,135	60,700	△3,435	3,928	6.5	△5.4	△2,715	△4.2	
営業利益	3,819	6,281	3,500	△2,781	2,462	64.5	△44.3	△3,262	△52.1	
経常利益	3,999	6,403	3,600	△2,803	2,403	60.1	△43.8	△2,793	△43.6	
当期純利益	2,839	4,718	2,600	△2,118	1,878	66.1	△44.9	△1,918	△40.7	
(参考)										
研究開発費	4,654	4,608	4,710	101	△45	△1.0	2.2	△42	△0.9	
1株当たり当期純利益(EPS) (円)	100.41	168.22	92.70	△75.52	67.81					
自己資本当期純利益率(ROE) (%)	3.4	5.5	-		2.1					
総資産経常利益率 (%)	4.1	6.3	-		2.2					
売上高営業利益率 (%)	6.3	9.8	-		3.5					
総資産当期純利益率(ROA) (%)	2.9	4.6	-		1.7					



## ② 財政状態

(単位:百万円)	2016年12月期		2017年12月期		増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B	C	C-B		
総資産	98,525	104,741	98,525	6,215	6.3	
純資産	83,556	87,119	83,556	3,562	4.3	
自己資本比率 (%)	84.8	83.2	84.8	△1.6		
1株当たり純資産(BPS) (円)	2,978.80	3,105.68	2,978.80	126.88		

## Ⅱ 2017年12月期 実績

### ① 損益計算書

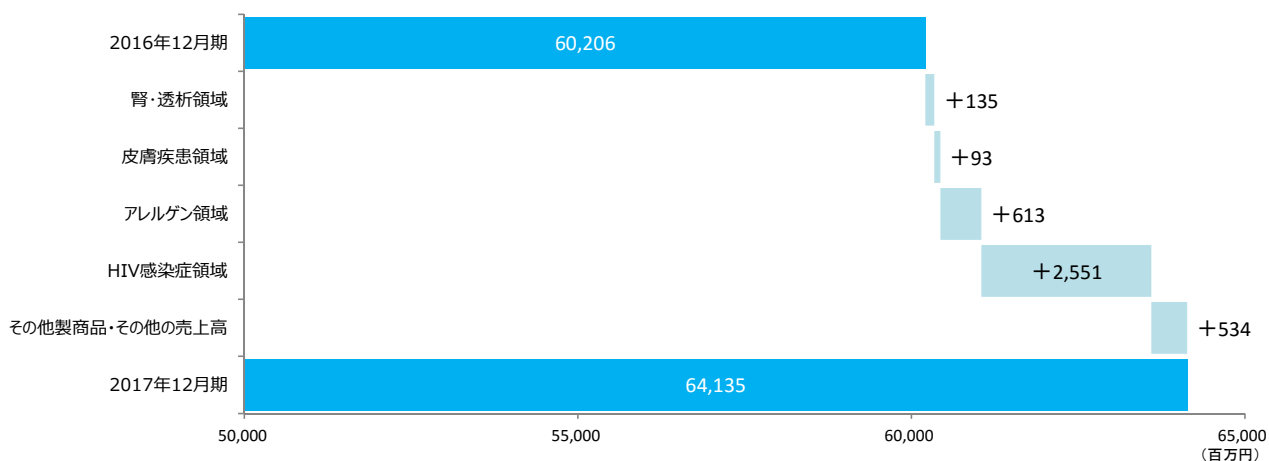
(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額 B-A	増減率
	A	B		(%) (B-A)/A
売上高	60,206	64,135	3,928	6.5
製商品売上高	59,620	62,935	3,314	5.6
腎・透析領域	25,141	25,276	135	0.5
皮膚疾患領域	9,811	9,905	93	0.9
アレルギー領域	1,485	2,099	613	41.3
HIV感染症領域	17,225	19,777	2,551	14.8
その他	5,956	5,877	△78	△1.3
その他の売上高	586	1,199	613	104.7
売上原価	30,287	31,293	1,006	3.3
製商品売上原価	30,223	31,225	1,001	3.3
その他の原価	63	68	4	7.4
売上総利益	29,919	32,841	2,922	9.8
販売費及び一般管理費	26,099	26,559	459	1.8
販管費(研究開発費除く)	21,445	21,950	504	2.4
研究開発費	4,654	4,608	△45	△1.0
営業利益	3,819	6,281	2,462	64.5
営業外収益	184	133	△51	-
営業外費用	4	12	7	-
経常利益	3,999	6,403	2,403	60.1
特別利益	86	-	△86	-
特別損失	29	29	△0	-
税引前当期純利益	4,056	6,373	2,317	57.1
法人税等	1,216	1,655	439	-
当期純利益	2,839	4,718	1,878	66.1

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2016年12月期	2017年12月期	増減 B-A
	A	B	
売上原価	50.3	48.8	△1.5
販売費及び一般管理費	43.4	41.4	△2.0
研究開発費	7.7	7.2	△0.5
営業利益	6.3	9.8	3.5
経常利益	6.6	10.0	3.4
当期純利益	4.7	7.4	2.7

【対前期増減要因】

売上高（64,135百万円 対前期+3,928百万円）

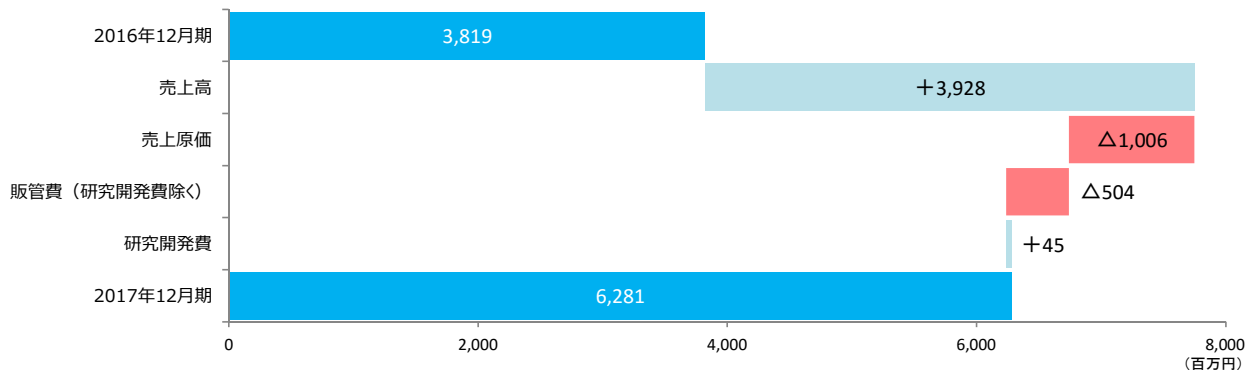


主な増減要因

腎・透析領域	: リオナ錠	+611百万円	、	注射用フサン	△414百万円
アレルゲン領域	: シダトレン スギ花粉舌下液	+358百万円			
HIV感染症領域	: デシコピ配合錠	+9,218百万円	、	ゲンボイヤ配合錠	+4,459百万円
	: ツルバダ配合錠	△8,813百万円	、	スタビルド配合錠	△2,222百万円
その他製商品・その他の売上高	: 手数料収入	+596百万円			

※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照

営業利益（6,281百万円 対前期+2,462百万円）



主な増減要因

売上原価	: 販売数量の伸長による増加、販売品目の構成変化による増加
販管費（研究開発費除く）	: 販売費の増加

経常利益（6,403百万円 対前期+2,403百万円）

特記事項：特になし

当期純利益（4,718百万円 対前期+1,878百万円）

特記事項：特になし

## ② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B		
製商品売上高	59,620	62,935	3,314	5.6
レミッチ	13,645	13,838	192	1.4
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
デシコビ配合錠 ※3	—	9,218	9,218	—
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ゲンボイヤ配合錠 ※2	1,865	6,325	4,459	239.0
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
アンテベート ※1	6,277	6,282	4	0.1
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
リオナ錠	5,634	6,245	611	10.9
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	12,754	3,941	△8,813	△69.1
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
ビオスリー	2,455	2,545	90	3.7
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ケイキサレート ※1	2,178	2,123	△55	△2.5
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
注射用フサン ※1	2,462	2,047	△414	△16.8
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ゼフナート	1,275	1,483	207	16.3
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
ロコイド ※1	1,352	1,411	58	4.3
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1	937	1,295	358	38.2
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
マグセント	1,165	1,115	△50	△4.3
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
ユリノーム錠 ※1	1,219	1,020	△199	△16.3
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
スタリビルド配合錠	2,371	148	△2,222	△93.7
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV感染症領域]				
その他製商品	4,023	3,891	△131	△3.3

※1 自社品

※2 「ゲンボイヤ配合錠」は、2016年7月に販売を開始しております。

※3 「デシコビ配合錠」は、2017年1月に販売を開始しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B		
自社品売上高	16,316	16,323	6	0.0
自社品比率 (%)	27.4	25.9	△1.5	—

### ③ 貸借対照表

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A	構成比 (%) (当期)
	A	B			
流動資産	80,123	83,980	3,856	4.8	80.2
現金及び預金	22,393	6,458	△15,935		
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	7,091	9,836	2,744		
受取手形及び売掛金	26,560	29,123	2,562		
有価証券	11,102	24,957	13,855		
たな卸資産	10,606	10,126	△480		
その他	2,368	3,478	1,110		
固定資産	18,401	20,761	2,359	12.8	19.8
有形固定資産	5,752	5,540	△212		
無形固定資産	896	817	△79		
投資その他の資産	11,752	14,403	2,651		
投資有価証券	3,877	7,478	3,601		
長期前払費用	6,486	5,748	△737		
その他	1,389	1,176	△212		
資産合計	98,525	104,741	6,215	6.3	100.0
流動負債	13,310	15,868	2,557	19.2	15.2
買掛金	6,698	8,242	1,544		
未払金	3,178	3,596	418		
未払法人税等	767	1,396	629		
賞与引当金	676	684	8		
その他	1,990	1,947	△43		
固定負債	1,658	1,753	95	5.8	1.6
負債合計	14,969	17,622	2,653	17.7	16.8
株主資本	82,993	86,364	3,370	4.1	82.5
評価・換算差額等	558	745	186	33.4	0.7
新株予約権	4	9	5	120.0	0.0
純資産合計	83,556	87,119	3,562	4.3	83.2
負債純資産合計	98,525	104,741	6,215	6.3	100.0

#### 主な増減要因

(流動資産)

受取手形及び売掛金 : 売上高の増加による増加

有価証券 : 債券、金銭信託及び譲渡性預金の取得による増加

(固定資産)

投資有価証券 : 債券の取得による増加、有価証券への振替による減少

(流動負債)

買掛金 : 商品仕入の増加による増加

#### ④ キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額
	A	B	B-A
税引前当期純利益	4,056	6,373	2,317
減価償却費	1,339	1,174	△164
売上債権の増減額 (△は増加)	1,344	△2,562	△3,907
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△770	480	1,250
仕入債務の増減額 (△は減少)	△155	1,544	1,700
未払金の増減額 (△は減少)	△220	486	706
長期前払費用の増減額 (△は増加)	44	737	692
法人税等の支払額	△2,500	△1,263	1,237
その他	264	△621	△885
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,402	6,349	2,946
有形固定資産の取得による支出	△500	△529	△28
有形固定資産の売却による収入	101	2	△98
無形固定資産の取得による支出	△260	△260	△0
その他	2,021	△6,806	△8,828
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,361	△7,593	△8,954
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,289	△1,546	742
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,475	△2,789	△5,265
現金及び現金同等物の期首残高	36,210	38,685	2,475
現金及び現金同等物の期末残高	38,685	35,895	△2,789

(注) 現金及び現金同等物は、現金及び預金（預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除く）、キャッシュ・マネージメント・システム預託金、有価証券（取得日から償還日迄の期間が3ヶ月を超えるものを除く）からなっております。

主な増減要因	
(営業活動によるキャッシュ・フロー)	
売上債権の増減額	: 当期 売上高の増加による増加
仕入債務の増減額	: 当期 商品仕入の増加による増加
(投資活動によるキャッシュ・フロー)	
その他	: 当期 有価証券及び投資有価証券の取得による支出

#### ⑤ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額	増減率 (%)
	A	B	B-A	(B-A)/A
設備投資額	891	931	40	4.5
有形固定資産	644	714	69	10.8
無形固定資産	246	217	△29	△11.8

当期の設備投資の内容	
有形固定資産	: 主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資
無形固定資産	: 業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

## ⑥ 非資金項目

(単位:百万円)	2016年12月期	2017年12月期	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
	A	B		
減価償却費	1,339	1,174	△164	△12.3
長期前払費用償却費	1,018	1,061	42	4.2

## ⑦ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階 (国内)					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
<b>腎・透析領域</b>								
JTT-751 「リオナ錠」	鉄欠乏性貧血	経口剤		Phase II				<ul style="list-style-type: none"> <li>・Keryx Biopharmaceuticals, Inc.と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結</li> <li>・日本たばこ産業(株)との共同開発 (適応追加)</li> <li>・日本たばこ産業(株)が2014年1月に高リン血症治療剤として製造販売承認を取得し、当社より販売中</li> </ul>
JTZ-951	腎性貧血	経口剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本たばこ産業(株)創製化合物</li> <li>・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結</li> </ul>
<b>皮膚疾患領域</b>								
JTE-052	アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase III			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本たばこ産業(株)創製化合物</li> <li>・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結</li> </ul>
	小児アトピー性皮膚炎	外用剤			Phase II			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本たばこ産業(株)創製化合物</li> <li>・日本たばこ産業(株)と日本における共同開発及び販売に関するライセンス契約を締結</li> </ul>
JTS-661	そう痒症	経口剤			Phase II			<ul style="list-style-type: none"> <li>・Menlo Therapeutics, Inc.と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結</li> <li>・日本たばこ産業(株)との共同開発</li> </ul>
<b>アレルギー領域</b>								
TO-203 「ミティキュア ダニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠			Phase II / III 終了※			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALK-Abelló A/Sと日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結</li> <li>・自社開発</li> <li>※今後の開発方針について検討中</li> </ul>
	室内塵ダニアレルギー疾患 (小児アレルギー性鼻炎) (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠				申請		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALK-Abelló A/Sと日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結</li> <li>・自社開発</li> <li>・2017年3月に製造販売承認申請</li> </ul>
TO-206 「シダキュア スギ花粉舌下錠」	スギ花粉症 (アレルギー免疫療法薬)	舌下錠					承認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社開発</li> <li>・2017年9月に製造販売承認取得</li> </ul>

前回公表時(2017年10月26日)からの変更点

- ・腎・透析領域「JTZ-951」(腎性貧血)の追加
- ・皮膚疾患領域「JTS-661」(そう痒症)の追加

(参考)

2017年10月に日本たばこ産業(株)が、EirGen Pharma Limitedと慢性腎臓病患者における二次性副甲状腺機能亢進症(SHPT)治療薬であるcalcifediol徐放製剤(米国での販売名「RAYALDEE®」、OPKO Health, Inc.が開発及び販売)について、日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結した旨、また、製造販売承認取得後の販売については、当社が行う予定である旨、公表しております。



### Ⅲ 2018年12月期 業績予想

#### ① 損益計算書

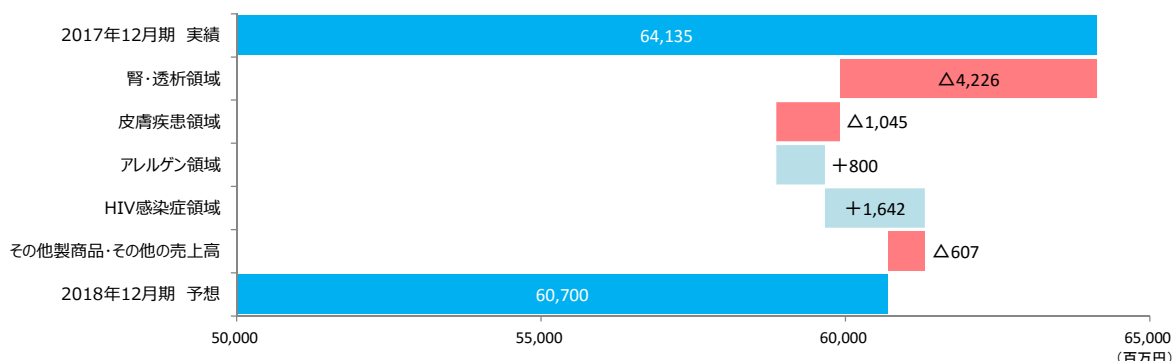
(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
売上高	64,135	60,700	△3,435	△5.4
製商品売上高	62,935	59,810	△3,125	△5.0
腎・透析領域	25,276	21,050	△4,226	△16.7
皮膚疾患領域	9,905	8,860	△1,045	△10.6
アレルギー領域	2,099	2,900	800	38.2
HIV感染症領域	19,777	21,420	1,642	8.3
その他	5,877	5,580	△297	△5.1
その他の売上高	1,199	890	△309	△25.8
売上原価	31,293	30,400	△893	△2.9
売上総利益	32,841	30,300	△2,541	△7.7
販売費及び一般管理費	26,559	26,800	240	0.9
販売費(研究開発費除く)	21,950	22,090	139	0.6
研究開発費	4,608	4,710	101	2.2
営業利益	6,281	3,500	△2,781	△44.3
経常利益	6,403	3,600	△2,803	△43.8
当期純利益	4,718	2,600	△2,118	△44.9

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2017年12月期	2018年12月期	増減
	実績 A	予想 B	
売上原価	48.8	50.1	1.3
販売費及び一般管理費	41.4	44.2	2.8
研究開発費	7.2	7.8	0.6
営業利益	9.8	5.7	△4.1
経常利益	10.0	5.9	△4.1
当期純利益	7.4	4.3	△3.1

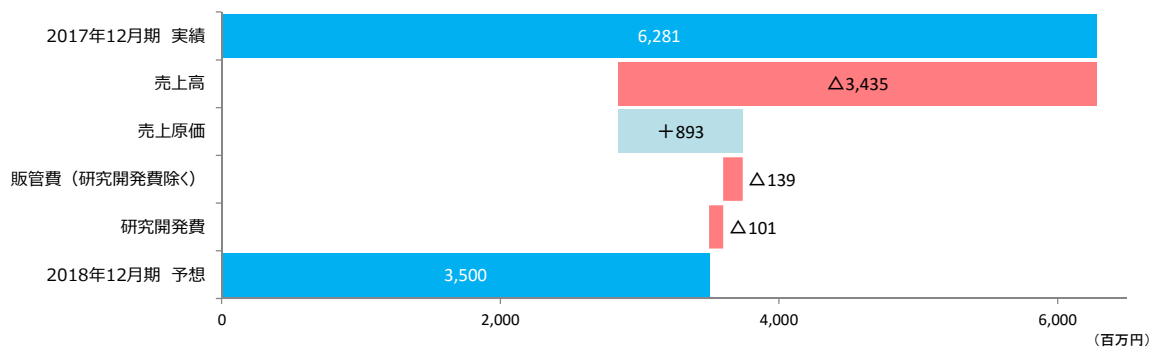
【対前期実績増減要因】

売上高（60,700百万円 対前期実績△3,435百万円）



主な増減要因				
腎・透析領域	レミッチ	△3,308百万円	注射用フサン	△1,017百万円
	ユリノーム錠	△320百万円	リオナ錠	+614百万円
皮膚疾患領域	アンテベート	△652百万円	ゼフナート	△123百万円
アレルギー領域	シダレン スギ花粉舌下液	+314百万円		
HIV感染症領域	デンコピ配合錠	+4,381百万円	ゲンボイヤ配合錠	+964百万円
	ツルバダ配合錠	△3,551百万円		
その他製商品・その他の売上高	手数料収入	△292百万円		
※詳細はP.10「② 製商品別売上高」を参照				

営業利益（3,500百万円 対前期実績△2,781百万円）



主な増減要因	
売上原価	: 売上高の減少
販管費（研究開発費除く）	: 販売費の増加
研究開発費	: 共同開発費用（JTS-661）の増加、共同開発費用（JTE-052）の減少

経常利益（3,600百万円 対前期実績△2,803百万円）

特記事項：特になし

当期純利益（2,600百万円 対前期実績△2,118百万円）

特記事項：特になし

## ② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2017年12月期 実績 A	2018年12月期 予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	62,935	59,810	△3,125	△5.0
デシコビ配合錠 ※2	9,218	13,600	4,381	47.5
抗ウイルス化学療法剤〔抗HIV薬〕 [HIV感染症領域]				
レミッチ	13,838	10,530	△3,308	△23.9
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ゲンボイヤ配合錠	6,325	7,290	964	15.3
抗ウイルス化学療法剤〔抗HIV薬〕 [HIV感染症領域]				
リオナ錠	6,245	6,860	614	9.8
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
アンテベート ※1	6,282	5,630	△652	△10.4
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
ビオスリー	2,545	2,680	134	5.3
活性生菌製剤〔整腸剤〕 [その他]				
ケイキサレート ※1	2,123	1,930	△193	△9.1
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1	1,295	1,610	314	24.3
スギ花粉症のアレルゲン免疫療法薬 [アレルゲン領域]				
ゼフナート	1,483	1,360	△123	△8.3
抗真菌薬 [皮膚疾患領域]				
ロコイド ※1	1,411	1,320	△91	△6.5
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚疾患領域]				
マグセント	1,115	1,080	△35	△3.2
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
注射用フサン ※1	2,047	1,030	△1,017	△49.7
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
コリノーム錠 ※1	1,020	700	△320	△31.4
尿酸排泄薬〔高尿酸血症治療剤〕 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	3,941	390	△3,551	△90.1
抗ウイルス化学療法剤〔抗HIV薬〕 [HIV感染症領域]				
その他製商品	4,040	3,800	△240	△6.0

※1 自社品

※2 「デシコビ配合錠」は、2017年1月に販売を開始しております。

### (参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2017年12月期 実績 A	2018年12月期 予想 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	16,323	14,680	△1,643	△10.1
自社品比率 (%)	25.9	24.5	△1.4	-

### ③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
設備投資額	931	1,166	234	25.1
有形固定資産	714	945	230	32.3
無形固定資産	217	221	3	1.5

#### 設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力の維持向上を目的とする製造設備への投資  
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

### ④ 非資金項目

(単位:百万円)	2017年12月期	2018年12月期	増減額	増減率 (%) (B-A)/A
	実績 A	予想 B		
減価償却費	1,174	1,128	△46	△3.9
長期前払費用償却費	1,061	961	△100	△9.4

### ⑤ 配当

		2017年12月期	2018年12月期	増減	増減率 (%) (B-A)/A
		実績 A	予想 B		
1株当たり配当金	(円)	48	48	0	0.0
配当性向	(%)	28.5	51.8	23.3	-

#### 【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。